

原子力委員会 近藤駿介委員長へ

「核燃料サイクル政策について」  
長計策定の重大な時期に責任ある立場に就かれ、苦勞も多いかと、お察し申し上げます。

7月29日の日経新聞の記事を読みました。「19兆円」を白紙に戻し、抜本的に見直すとのこと。現行の核燃料サイクルに疑問を抱く私にとっては大へん好ましいことだと評価しております。

この際、今までのようなほんの一部の専門家や政治家だけが議論するのではなく、広く国民に対して情報公開をし、技術面、コスト面、安全性などの比較・検討をオープンに公開の場で行なうべきだと思います。

そして核燃料サイクル政策は、転換が必要です。使用済み核燃料は再処理しないで直接処分する方法がベストだと思います。コスト面から、安全面から...

それでは、今現実に出来てしまった使用済み核燃料をどうするのか? という問題が出てきます。

地下処分は、地下水や土壌の放射能汚染につかりずらい不可能です。現地点では、永遠に安全に放射能を容器の中に閉じ込めておくことは確立されていないので、その技術が完成されるまでの間、発電所の敷地内で貯蔵し、貯蔵限界に達した時点で、毎発電所は閉鎖し、廃炉にするという方法が環境負荷も少なく、危険性、リスクも少なく、大量の核のゴミの量をこれ以上増やさない、いちばん優れた方法だと思います。

井上真美子